

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（生駒小学校）



実施日 実施期間	令和元年11月1日（金）～11月29日（金）
実施内容	<h3>タイトル「本をたくさん読もう」</h3> <p>全国読書週間に合わせ、生駒小学校では11月を「読書月間」と位置付け、子どもたちに読書を奨励する。（本年度11月1日～11月29日）</p> <ul style="list-style-type: none">○「お話会」開催 図書館司書さんとの連携 読書月間に合わせて、低学年2回高学年2回、昼休みに実施する。○図書委員会の取組<ul style="list-style-type: none">① 「わくわく読書カード」の活用 全学年7冊読破の奨励を行う。② 「手作りしおり」プレゼント 子どもたちの本への興味関心を高めるため、図書委員会が全校一人一枚ずつしおりをプレゼントする。③ 低学年への読み聞かせ 月1回程度、朝学習の時間に図書委員会の児童による読み聞かせを実施する。④ おすすめの本の紹介 あらすじやイラストを交えた、おすすめの本の紹介カードを委員会の児童が一人一枚作成し、図書室前に掲示する。○としょक्सさんの活動 水曜日朝の読み聞かせの他、月2回程度木曜日の中休みに低学年図書室で絵本の読み聞かせを行う。
児童生徒の様子	<ul style="list-style-type: none">・読書カードに借りた本を記録することで、意欲が高まり、2枚目以降の読書カードにも記録する児童がいた。・「読書月間」の「手作りしおり」は、毎年図書委員会が取り組み、全校児童の本への関心が高まるよう、工夫して作り上げている。・読書月間中のお話会は、100人を越える児童が参加した。委員会の子ども達も、大いにやりがいを感じ、進んで活動していた。
取組後の変容 (子ども・家庭・教師)	<ul style="list-style-type: none">・図書室を利用する児童が増えた。また、様々なジャンルの本を読むようになった。・図書の時間以外に、調べ学習等で図書室の本を利用する機会が増えた。
備考	

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒南小学校 ）



実施日
実施期間

令和元年10月24日（金）～11月8日（金）

実施内容

タイトル「南小ブックフェスタ」

～図書室に行こう、本をたのしもう



○先生おすすめの1冊コーナー

毎年恒例、「先生おすすめの1冊」を図書室に面展示した。

○みんなの本だな

子どもたちが書いてくれたおすすめの本書カードを図書室前掲示板で紹介した。また、カードを書いてくれた人に、南小図書室オリジナルキャラクター「トシヨ」のついたしおりをプレゼントした。

○図書委員5年生による2・3年生への出張読み聞かせ

読書タイムには、1年は通年、学級担任が読み聞かせを行っている。他学年は自由読書の時間となっているが、2・3年生に出張読み聞かせを行った。

○「えほんのひろば」開催

10月30日～11月1日の3日間、生駒市図書館などの協力も得て、多目的室に絵本300冊を展示し、中休みと昼休みに自由に閲覧できるようにした。また、各学級、授業時間に「えほんのひろば」に行く時間を設け、読書を楽しんだ。



児童生徒の様子

今年度、初めて実施した「えほんのひろば」には、たくさんの子どもたちが訪れ、思い思いに絵本や写真集、図鑑などを楽しんでいた。また、低学年を中心に、図書委員の子や司書の先生にお気に入りの絵本を読んでもらうなど、ほほえましい姿も見られた。



取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

○先生おすすめの1冊の中には、子どもたちが普段あまり手に取らない本もあったが、子どもたちにとって親しみのある先生が紹介していることで、よく手にとられるようになった。

○「みんなの本だな」で子どもたちが紹介してくれた本についても、興味を持っている様子だった。

○「えほんのひろば」には、図書室にない本も数多くあったので、子どもたちの興味関心が広がった。



備考

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒北小中学校 ）



実施日 実施期間	令和元年11月5日（火）～11月29日（金）
実施内容	<p>タイトル「読書ギネス めざせ!! 1000さつ」</p> <ul style="list-style-type: none">・11月の全校集会で、図書委員から読書週間のお知らせをしました。今年のテーマは「読書ギネス」で、期間中に貸出数1000さつを目指します。毎週金曜日に集計した結果を掲示して、12月の全校集会で結果発表を行います。その時、図書委員から本のクイズを出して、全校児童に答えてもらいます。・読書週間前に、寄附して頂いた上武文庫のコーナーを作りました(→)。図書室前廊下にはその本のカバーを掲示して紹介しています。  <p>カウンターには、図書館や本が登場する本を集めています(←)。</p> <ul style="list-style-type: none">・期間中は、本を2冊借りることができるようにしました。 
児童生徒の様子	<p>1年生は初めての読書週間の2冊貸出に「いつまで2冊借りられるの?」と大喜びで、図書の時間や休み時間にも2冊借りていました。日頃からたくさん本を読む児童にも2冊貸出はうれしい取組のようで、毎回2冊借りて読んでいます。</p> 
取組後の変容 (子ども・家庭・教師)	<p>上武文庫や本が登場する本のコーナーなどは目にとまりやすいので、児童が新しい本やおすすめの本を自然と手に取っています。読書週間の新たな本との出会いの場になりました。</p>
備考	 <p>期間中、大階段の掲示板には4年生のおすすめの本が掲示されていました。たくさんの人が通る大階段、立ち止まって見ている児童もいました。</p>

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（生駒台小学校）



「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒東小学校 ）



実施日
実施期間

令和元年10月28日（月）～11月15日（金）

実施内容

タイトル「本に親しみ、本をたくさん読もう」

- ・読書週間と人形劇のお知らせのポスターを図書支援ボランティアに作っていただき、廊下や図書室に掲示した。
- ・読書週間と人形劇のことを給食時間に図書委員が放送し、全校に伝えた。
- ・読書週間に合わせて、その期間は一人2冊に貸し出し冊数を増やした。
- ・期間中の11月8日（金）に、地域で活動されている「サークルほびっと」の方に来ていただき、人形劇「すいかのたね」を多目的室で上演した。



児童生徒の様子

- ・読書週間の期間中、積極的に本を2冊借りる児童が多かった。
- ・人形劇は低学年の児童中心におよそ80名が参加した。楽しそうに人形劇を見ていた。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)


- ・低学年では、週1回の図書の時間に本を借りることが多かったが、休憩時間にも大勢借りに来るようになった。また、1週間いっぱい借りるのではなく、貸し出し期間がもっと短くなり、中には毎日借りなおしていく児童も出てきた。おすすめの本を尋ねに来る児童が増え、本への関心が高まった。お父さんお母さんに勧められた本を借りに来る児童もいて、家庭でも本の話が出てきているようだ。
- ・先生方が日頃から本で調べるという指導をされていることもあり、授業で使うために図書室の本をまとめて借りられることが増えた。

備考

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 真弓小学校 ）



実施日 実施期間	令和元年9月26日（木）～11月15日（金）
実施内容	<p>タイトル「レッツゴー図書室！」</p> <p>読書の秋に、児童が図書室に親しみを持ち、図書室に足が向くような次の取組を行った。</p> <p>① 10月の生活目標は「本を読もう」</p> <p>全校集会で学校司書から児童に向けて本の話をした。 「何十年も前から読み継がれている本を集めたコーナーを作ったので、借りて帰っておうちの人と本の話をしてくれたらいいと思います」と伝えた。</p>  <p>② 図書クイズ</p> <p>図書委員が学校図書にちなんだクイズを作り、図書室に掲示した。</p> <p>③ 真弓小図書室のキャラクター募集</p> <p>図書委員会から全校児童に向けて学校図書館のキャラクターを募集。 選ばれたキャラクターは掲示物や図書だよりに登場する予定。</p> <p>④ 読書推進協議会作成のポスター掲示</p>
児童生徒の様子	<p>① 全校集会後、学校司書が紹介した本を手取る児童がいた。 他にも「お父さんはこの本を読んだって言ってた」「うちのお母さんは『赤毛のアン』が好きだったけど、ここにありますか？」等の反応があった。</p> <p>② 休み時間、クイズを楽しんでいる様子が見られる。</p>
取組後の変容 (子ども・家庭・教師)	<p>① 「図書クイズ」は毎年図書委員会が取り組んでいる。クイズの問題用紙をめくってクイズの答えを知り、図書室の本を探して答えを確かめるなど、本への関心を高めるきっかけになったようだ。</p> <p>② 学校司書が全校の前で「子どものころに読んだ本」を紹介することで、今まで興味のなかった本に手を取る機会ができた。</p>
備考	キャラクター募集は活動途中。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 俵口小学校 ）



実施日
実施期間

令和元年10月28日（月）～11月8日（金）

実施内容

タイトル「ちゃれんじ！」

① 図書委員会の取組

俵口小学校では恒例の図書委員の本紹介を10月の全校朝礼で行った。

今年は曜日ごとの当番でおすすめの本をそれぞれ1冊決めて、グループでパネルなどを作り、協力しながら発表した。

緊張しながらも大きな声で紹介された本は、毎年たくさん借りられていく。



② 図書室の取組

今年は、読書週間に「図書館クロスワード」にチャレンジしてもらった。

低・中・高学年ごとにレベルを分けて、本に関連した問題を用意し全部解けたら「よくできました！」のハンコを押す。自分の学年以外のも挑戦して、全学年制覇する子がたくさんいた。ヒントの本を必死に探して読み、楽しそうにすごしていた。



③ 図書室の掲示

図書委員会のおすすめコーナー

校長先生のおすすめコーナー

読書クラブのおすすめコーナー設置



児童生徒の様子

図書委員会の発表以降、読書週間の2冊貸し出しを多くの子が楽しみに待ちわびていた。図書室の開館時間ごとに来る児童数も増え、図書室がいっぱいになった。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

今回はクロスワードをすることにより普段図書室に来なくなっていた子も、図書室に来るきっかけになった。また、よく読書する子もまだ読んでいなかった本やちがうジャンルの本をクロスワード問題から知り、読書の幅がひろがったようだ。

備考

図書ボランティアの方が本紹介の掲示を作成してくださり、図書室内と廊下の掲示が増えた。読書クラブのおすすめ本も手作りの本の帯で紹介し、本の楽しさを伝えてくれた。これからも読書意欲が向上する図書室づくりに挑戦していきたい。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（鹿ノ台小学校）



実施日
実施期間

令和元年11月11日（月）～11月21日（木）

実施内容

タイトル「校内読書週間」

○教師による読み聞かせ

11月7日（木）

8：30～8：45

全国読書週間の標語「おかえり、葉の場所で待ってるよ」を参考に各自が図書を選定し、読み聞かせをおこなった。子どもが絵本の登場人物となり参加する音楽劇のようなものや一緒に体を動かしながら楽しむもの、子どもとのコミュニケーションを中心に展開されるもの等、読み聞かせにも工夫がみられた。

【読み聞かせの図書（一例）】

『しろくまのパンツ』『ペンぎんたいそう』『こんなことがあつタワー』『たまごにいちちゃん』『まんてんべんとう』『はなのあなのはなし』『ゆらゆらばしのうえで』『ころべばいいのに』『ダジャレ世界一周』『スイミー』『えんとつの町のプペル』



児童生徒の様子

担任外の教師による読み聞かせということもあり、楽しみにしている子どもが多かった。おはなしの世界に入り込み、集中して聞く様子がみられた。また、おもしろいときに笑う姿が印象的であった。おはなしに対して普段親しみのない子どももいるが、楽しむことができていた。読み聞かせの時間がおわるのをさみしく思っている子どもも多く、そのような声もあがっていた。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

教師による読み聞かせは毎年恒例のものとして定着してきている。読み聞かせのあと、図書室を利用する子どもが少し増えた。(図書委員会による読書週間イベントの影響もあるが。) 絵本のコーナーには高学年の子どもの姿も見られ、おはなしに興味を持つようになったと思われる。

また、教師にとっても楽しみな行事の一つとなっている。図書室に足を運び、子どもの様子を想像しながら図書を選定する様子がみられた。これを機に、教師一丸となって読書を推進できればと思っている。

備考

特になし。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 桜ヶ丘小学校 ）



実施日
実施期間

令和元年10月30日（水）～11月29日（金）

実施内容

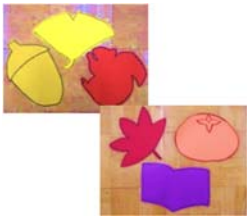
タイトル「読書の秋キャンペーン」

- ・11月の朝の集いで、図書委員会から「読書の秋キャンペーン」のお知らせをしました。校長先生からも、読書週間についてお話していただきました。「読書の秋キャンペーン」は、読書の秋にちなんで、自分の好きな本やおすすめの本を、本の紹介カードに書いてもらいます。全校児童分のカードが集まったので、図書室前の掲示板に掲示しました。
- ・読書週間に合わせて新しい本のコーナーを作り、図書室前廊下には本のカバーを掲示して紹介することで、新たな本との出会いの場としました。期間中は、本を2冊借りることができるようにしました。



児童生徒の様子

全校児童が、本の紹介カードを書きました。タイトルだけの子も、あらすじやどこがおもしろかったかをぎっしり書き込んだ子もいます。
1年生は初めての読書週間の2冊貸出に大喜びで、毎週2冊借りています。
(1年生：どんぐり、2年生：いちょう、3年生：りす、4年生：かき、5年生：本、6年生：もみじ)



取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

委員会の時間に本の紹介カードを掲示すると、その後すぐに、先生も子ども達も足をとめて眺めていました。自分のカードや友達のを発見して読んだり、全校でどんな本が多いかを調べていました。



備考



期間中、5年生が作成したPOPも掲示しました。POPを読んでその本を借りる子も多く、本はほとんどいつも貸出中になっています。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（あすか野小学校）



実施日
実施期間

令和元年10月27日（日）～11月9日（土）

実施内容

タイトル「あすか野小学校読書月間」

○めあて 本に関心を持ち、進んで読書しようとする態度を育てる。

- 内 容
- (1)各学年で学級担任以外の教師による児童への本の読み聞かせ会を実施する。
 - (2)図書委員会が企画した図書ビンゴを低学年・中学年・高学年に応じた方法で図書室で実施する。



児童生徒の様子

- ・普段から児童に読み聞かせをしている学級担任以外の学年の教師が読み聞かせをすることで、集中して静かに読み聞かせを聞くことができ、読み聞かせ会に楽しく取り組むことができた。
- ・図書委員会が企画した図書ビンゴに休み時間に友だちと誘い合うなどして楽しく取り組むことができ、ビンゴカードを見せ合うなど友だち同士の交流もすることができた。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

- ・学級担任以外の学年の教師が読み聞かせをすることで、読み聞かせへの期待が高まり、普段とは異なる本の世界を体験し、本への関心が高まり、家庭での話題にもなったことと思われる。教師も担任している学級以外での読み聞かせを通して、普段とは異なる児童の反応から、自分自身の読み聞かせを振り返るよい機会となった。
- ・図書ビンゴは図書委員会の児童が主体的に企画したことから、図書委員会の役割を広く考えるよい機会となり、児童も本や図書室に関心を持ち積極的に参加したことから、委員会の児童の次への意欲に大いにつながった。

備 考

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 壱分小学校 ）



実施日
実施期間

令和元年10月28日（月）～11月29日（金）

実施内容

タイトル「本をたくさん読もう」

本校では毎朝10分間全校で読書の時間を取っており、静かに読書をするのが定着している。保護者の方による読み聞かせも定期的を実施しており、子ども達は楽しみにしている。秋の読書週間ではより本に親しみ、たくさんの本を読んでもらえるよう、図書委員会で児童が話し合い、次のことが決まった。

① 読書週間中2冊貸し出しのポスターを貼る

② 貸し出し冊数を2冊にする

普段は一週間1冊の貸し出しを2冊にする。
11月の貸し出し数の多い児童、各クラス3名の名前を図書室前に貼り出す。

③ 全学年希望者に図書委員の体験してもらう

昨年度好評だったことから同じ企画をした。
各クラス3名を募り、パソコンを使っての貸し出し、返却の操作や本の整理、来室人数をカウントする、などを体験する。

④ 図書委員会の児童による1、2年生のクラスでの本の読み聞かせを行う



児童生徒の様子

ポスターで知らせた事で2冊貸し出しを楽しみにしていたようだ。一冊は文学もの、もう一冊は違うジャンルを選ぶ児童も多かった。また、2冊貸し出しも一週間で返却のため、朝の読書タイムや中休み、昼休みにも読書をしている姿が多く見られた。休み時間の図書室来場数も増えた。

図書委員体験では昨年同様、たくさんの希望者のなかから各クラスで3名ずつとした。体験の感想として、「パソコンの操作など普段できないことができ、とても楽しかった。」という感想が多かったが、本の整理がしやすいように、借りる時や返す時には気をつけたいという感想も聞かれた。初めての試みである読み聞かせは、司書の先生から本選びや読む時のアドバイスを受け、練習を重ねて臨んだ。緊張しながらも落ち着いて読むことができていた。聞いている児童の歓声や驚きの声にもあわてずに、落ち着くのを待ってから読むなど、いつもは聞いている側で気づくことも実践しながら、貴重な体験ができたようだ。読み聞かせをもらった低学年の児童は、静かに、興味を持って聞いており、「とても楽しかった。」という感想が多く聞かれた。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

2冊貸し出しをしたことで、初めて借りたジャンルの本に興味を持った児童も多い。読書週間後、朝の読書タイムが今まで以上に集中している。

備考

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒南第二小学校 ）



実施日
実施期間

令和元年10月7日（月）～11月11日（月）

実施内容

タイトル「おススメの本を紹介しよう」

- ① 今までに読んでおもしろかった本について、おススメポイントをカードに記入して紹介する。（カードは全児童に配布）
- ② 図書室と子どもたちの目に触れやすい昇降口に、紹介された本をカードとともに展示し、通常通り貸出する
- ③ 委員会活動の一つとして図書委員にも協力してもらい実施
 - ・紹介カードのデザイン
 - ・各クラスへのカードの配布・回収
 - ・展示するための模造紙への貼り付け作業
 - ・読書週間、紹介カードのPR放送



児童生徒の様子

興味を持って、展示している本や紹介文をながめて本を借りる子や、自分が書いたカード、紹介した本が展示されているか探す子もいた。
自分の書いたカードやクラスの子、知っている他学年の子のカードを見つけると、みんなうれしそうだった。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

人気の本だけでなく、棚に並べているだけではあまり借りられることのない本も、身近な子どもたち同士で紹介しあって展示することで、魅力ある本となり読まれるようになった。
学級文庫の本や自分が持っている本の紹介もあり、紹介カードを見ると子どもたちが普段好んで読んでいる本の傾向も見えてくるので、購入する際の選書の参考にした。

備考